

展てんしていききました。

この父子ふしの対立たいりつを心配けんさいした兼載けんさいは、九月十三日に父子ふしの和合わごうを祈いのつて、芦名あしな祈禱きとう百韻ひゃくいんという連歌れんがをまとめて諏訪すわ神社しんじやに奉納ほうのうしています。

月つきは名なをわくるも一つ光ひかりかな

しかし、兼載けんさいの祈いのりもむなしく、父子ふしの対立たいりつはとけず、子の盛滋もりしげの軍いくさが敗やぶれてしまいました。

会津えつしん入りした文亀ぶんき二年に（一五〇二年）から、芦名あしな父子ふしの和合わごうを祈いのつて百韻ひゃくいんをよんだ永正えいしやう二年に（一五〇五年）までの間、兼載けんさいの幅広はばひろい連歌れんが活動かどうがみられます。会津えつしんだけでなく白河しらかはやいわきにも出かけていますが、特に会津えつしんでの活躍かつやくぶりは、黒川くろがわ（会津えつしん若松わかしら）、柳津やなぎづ、猪苗代いのなわしろなどでの作品さくひんからうかがうことができます。

川霧かわきりや音おとに舟行ふねゆくゆふへかな（柳津やなぎづ）

山やまは雲海くもうみは氷こおりをかかみかな（猪苗代いのなわしろ）